

佐賀市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間
令和4年度(2022)～令和13年度(2031)

佐賀市における平野部の成り立ちは有明海に大きく起因し、自然の陸化や鎌倉時代から行われてきた干拓により、現在の佐賀平野が形成されてきた。江戸時代には、鍋島氏の居城である佐賀城を中心とした城下町が建設され、当時の町割はその姿をほとんど変えることなく今に引き継がれている。海外に門戸を開いていた長崎と小倉を結ぶ長崎街道は、珍しい文物・文化をもたらし、佐賀の地に影響を与え続けてきた。こうした地形的・位置的背景のもと変遷を歩んできた佐賀市には様々な歴史的風致が形成され、今日まで継承されている。

1 城下町の形成とその維持から見える歴史的風致

江戸初期に完成した町割は、ほぼそのままの位置と形状で現代に引き継がれており、そこで行われる河川清掃や消防活動が、地域住民によって継承されている。

河川清掃 ▶



2 長崎街道と菓子文化の継承から見える歴史的風致

幕府から長崎警備を命じられた佐賀藩は、南蛮文化とともに当時貴重だった砂糖も手にいれることができた。砂糖を使った南蛮菓子文化は長崎街道を中心に花開き、現在も市民の日常の中に息づいている。

丸ぼうろ ▶



3 幕末佐賀藩の近代化産業に由来する伝統産業の継承から見える歴史的風致

佐賀藩が藩をあげて科学技術の習得に力を入れていた「精煉方」事業のうち、ガラス事業は経営体制を変えながら引き継がれている。ガラス器の製造過程には、「精煉方」由来の近代化産業の息吹が感じられる。

肥前びーどろ ▲



4 城下町の恵比須信仰から見える歴史的風致

他に例をみないといわれるほど恵比須像の数が多いため、市民にとって身近な存在であり、大事にされてきた。佐賀城下は、「恵比須さんが微笑むまち」でもある。

恵比須像 ▶



5 三重津とその周辺に見える歴史的風致

佐賀藩洋式海軍の拠点であった時代から和船や洋式艦船が行き交っていた三重津は、今日でも海苔養殖等に向かう漁船でにぎわいをみせる。三重津近隣に生まれ、佐賀藩の近代化に尽力、後に日本赤十字の礎を築いた佐野常民の博愛精神は、地域住民の生活に深く根付いている。

佐野常民生誕記念碑



6 堀文化の継承から見える歴史的風致

低平地である城下町とその周辺は、水の恩恵とともに水害による危険性も持ち合わせている。水の恩恵を享受し、氾濫を回避するための活動や、水難事故から子どもたちを守る「ひやーらんさんまつり」が継承されている。

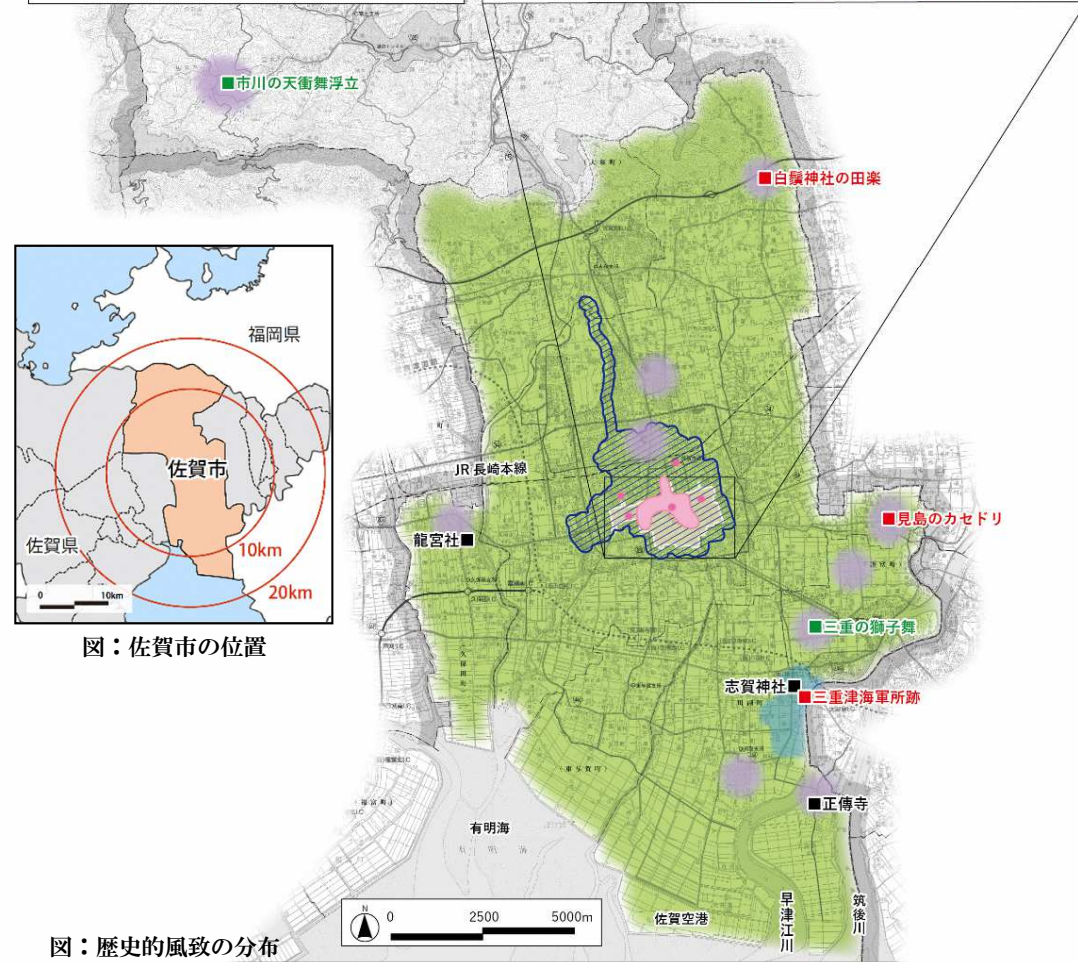
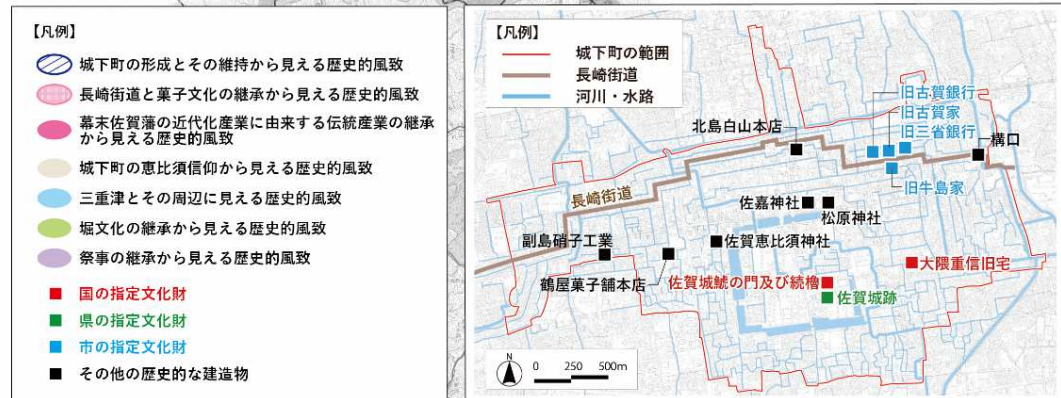
張り巡らされた「堀」



7 祭事の継承から見える歴史的風致

広大な佐賀平野は米どころとして、農家の豊穡への祈りや自然への感謝の念が強く、多くの集落で行われている浮立や祭事がそれぞれの地域に受け継がれている。

見島のカセドリ ▶



図：佐賀市の位置

図：歴史的風致の分布

佐賀市の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称と面積

名称: 佐賀城下町地区

面積: 約411ha

名称: 三重津海軍所跡周辺地区 面積: 約46ha

第2期計画では、「歴史的建造物等の保存・活用」「歴史的資産等の周遊環境の整備」「地域固有の歴史文化の継承と市民の理解促進」を基本方針として、歴史的風致の維持向上に資する施策・事業を展開していく。特に、佐賀藩の近代化産業遺産及びその周辺に重点区域を拡充することを意図して、「佐賀城下町地区」に加え「三重津海軍所跡周辺地区」を重点区域に設定し、各種施策・事業を重点的かつ一体的に推進していく。

④ 旧馬場家住宅保存修理事業

●歴史的建造物等の保存・活用に関する事業

長崎街道沿いの柳町に位置する、江戸期建築の貴重な歴史的建造物である旧馬場家住宅の保存修理と公開活用のための改修を行う。

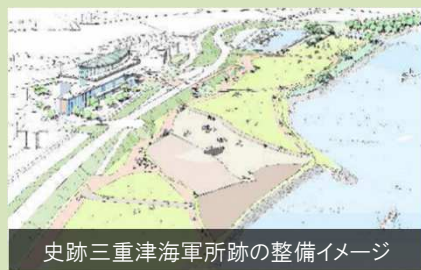


旧馬場家住宅及び腕木門

⑦ 史跡「三重津海軍所跡」保存整備事業

●歴史的建造物等の保存・活用に関する事業

遺構を恒久的に保存しつつ、来訪者に史跡三重津海軍所跡への理解をより一層深めてもらうため、遺構の平面表示などの史跡整備を行う。



史跡三重津海軍所跡の整備イメージ

⑩ 案内・説明看板及び誘導看板整備事業

⑰ 案内・説明看板及び誘導看板データ化事業

●歴史的資産等の周辺環境の整備に関する事業 ●地域固有の歴史文化の継承と市民の理解促進に関する事業

本市に点在する指定文化財や歴史資源の案内・説明看板、誘導看板(以下、各種看板)を統一感のあるデザインで作成し、設置する。また、合併前の各市町村それぞれのデザインで設置された各種看板についても、同じデザインでの設置を進める。

また、これまでに設置した各種看板の位置や記載内容をデータ化し、ホームページ等で公開する。



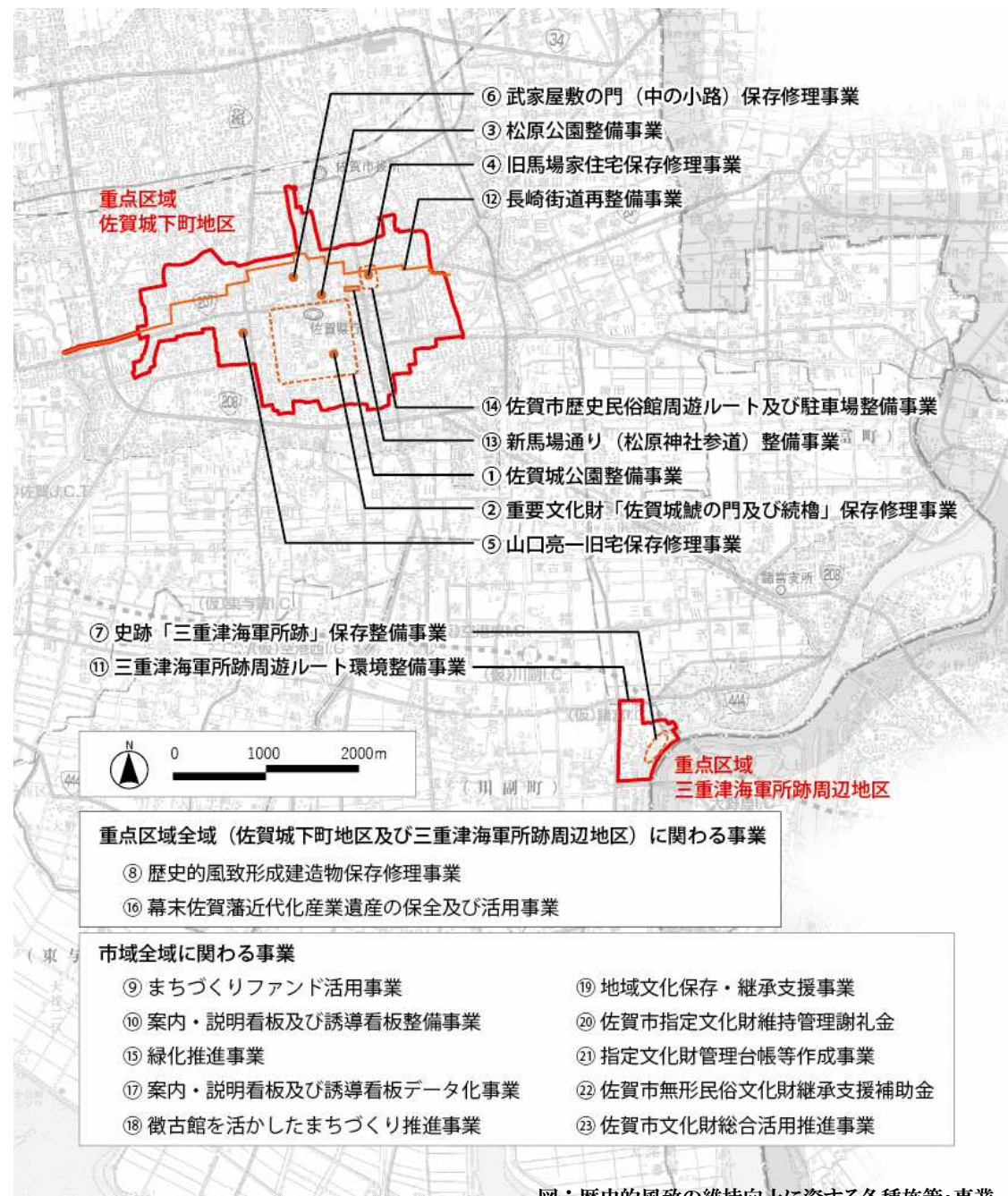
統一デザインによる案内看板

⑯ 幕末佐賀藩近代化産業遺産の保全及び活用事業

●地域固有の歴史文化の継承と市民の理解促進に関する事業

佐賀藩が他藩に先駆けて近代化に取り組んだことを示す幕末佐賀藩近代化産業遺産について、適切な保全を行いながら調査を進め、佐賀藩の果たした功績を広く市民及び来訪者に周知するとともに、次世代に継承していくための取組を行う。

精煉方跡記念碑 ▶



図：歴史的風致の維持向上に資する各種施策・事業